



令和6年9月30日

午後5時

## 学生空き家活用プロジェクトのワークショップを実施します

### 1 目的

空き家活用プロジェクト(交流拠点づくり)を通じて、市内外の学生がまちづくり・空間づくりに触れることで、本市に興味・関心を持ってもらう。

### 2 日時 10月5日(土)午後1時～5時頃

6日(日)午前10時～5時頃

### 3 場所 一関修紅高等学校(岩手県一関市東花王町6番地1)

### 4 参加者 一関修紅高等学校生および修紅短期大学学生 約10人 早稲田大学の学生 5人

### 5 内容 別紙のとおり

### 6 その他 6日(日)の午前のみ市内工務店が間取り提案の考え方レクチャーや相談対応として参加する。

#### 問い合わせ先

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号  
一関市役所 まちづくり推進部交流推進課移住定住係  
地域おこし協力隊 空き家プロデューサー 松尾 美沙樹  
電話:(0191)21-8194 (ダイヤル)  
FAX:(0191)23-4850  
メールアドレス:misakima@city.ichinoseki.iwate.jp

## 学生空き家活用プロジェクト 実施要項

### 1 目 的

一ノ関駅前エリアの空き家（または空き店舗）を舞台にまちづくり・空間づくりに触れることで、一関に興味関心を持ってもらうことを目的とする。

高校生に対しては進学等で市外へ出ても「また帰ってきたい」と思える事柄を増やすことになり、大学生に対しては都会からの新しい視点で発想してもらうと共に、最終的には関係人口の増加に期待する。そして、地域を超えた高校生・大学生合わせたプロジェクトとすることで、新たなコミュニティ形成にも繋がる。

また、活用された物件においては地域おこし協力隊（空き家プロデューサー）の拠点とし、簡易的な空き家相談・移住相談ができるだけでなく誰でも利用できる「交流の場」とすることで、学生や商店街利用者など、さまざまなコミュニティを広げてもらうことを目的とする。

2 参 加 者 市内の高校生（予定：一関修紅高等学校インターアクト同好会）  
早稲田大学生

3 参加人数 高校生 10人程度 / 大学生 5人程度

4 実 施 日 令和6年5月15日 から 令和7年3月31日（予定）

5 主 催 一関市（一関市地域おこし協力隊 松尾 美沙樹）

6 物 件 岩手県一関市新大町 28 付近

7 内 容 別紙行程表のとおり ※ 10月5日（土）～6日（日）分のみを添付

8 参 加 費 無料

## 学生空き家活用プロジェクト ワークショップ（1） 工程表

時 間	場 所	内 容
<b>10月5日</b>		
13:00 (30分)	修紅高等学校 会議室	1 オリエンテーション 2 自己紹介
13:30 (90分)	一ノ関駅前 周辺 (大町・新大町)	3 一ノ関駅前周辺街歩き 交流拠点となる空き店舗の見学 (住所：岩手県一関市新大町 28 付近/tugibooksTEN 向かい)  (20分休憩)
15:20 (60分)	修紅高等学校 会議室	4 チーム分け (市内学生2人+早稲田1人/チーム 程度) 5 ワークショップ (現状の課題と大まかな活用アイデア)
16:20 (30分)		6 交流会
16:50 (10分)		8 片付け・解散
<b>10月6日</b>		
10:00 (終日)	修紅高等学校 会議室	1 ワークショップ (活用アイデアの肉付け) (提案例) ・間取り含む図面各種 ・家具デザインや配置 ・古流拠点の名前 ・その他 (運営方法や宣伝方法など)
16:50 (10分)		2 片付け・解散

※一部変更もあり得ます。